

NUCLEAR ENERGY SYSTEMS

原子力発電で社会を灯し続ける仕事
未経験者のチャレンジ募集

原子力プラントの
安定運転に貢献

日本のエネルギー問題を
三菱の技術で
解決したい

原子力発電の
信頼回復
安定稼働
に繋がる仕事をして、日本の
電力供給、
エネルギー問題
に貢献する！

燃料サイクルの実現により、人と環境が上手く共存しながら経済が発展していく社会の手助けをしたい

安全だと胸を張れる
原子力プラントを設計し、
カーボンニュートラル
に貢献する

革新軽水炉の
建設・運営を見届ける！

将来炉を
早期に社会実装し、
低炭素社会の
実現に貢献したい



原子力エンジニアのチャレンジは？



キャリア採用者インタビュー

VOICE
01

前職での機械設計の知識を生かして 原子力の最前線へ



小松 大祐さん

三菱重工株式会社
原子力セグメント
プラント設計部
軽水炉プラント設計課

前職は建設機械の開発・設計業務に携わっていましたが、より大規模な事業で社会貢献したいと考え、原子力発電所に関わる現在の仕事を選択しました。現在は、持ち前の積極性を活かし、上司・先輩方と協調しながら、原子力という新たな分野にチャレンジし、日々やりがいを感じています。

仕事内容

原子力発電所における保温、塗装、揚重設備（クレーン）、補助ボイラ等に関する設計。

前職（業種、業務内容）

建設機械メーカー、クレーンの機械設計

現在担当しているプロジェクト

前職の経験を活かしながら揚重設備の設計業務に加え、これまで経験のない補助ボイラ他の設計業務も担当しています。補助ボイラについては、各原子力プラントの既設設備を更新するPJを任せられ、技術的ノウハウも少なく苦労する部分もありますが、上司・先輩方の助力を受けながら、一歩ずつ着実に業務を推進しています。

上司からひと言

業務形態も内容も慣れないところからのスタートですが、持ち前の前向きさと誠実さを武器に、入社早々から戦力として活躍してくれています。補助ボイラの更新という大きなPJの達成に向けては、一人ではなく関係者全員が一つのチームとなって推進することが必要ですので、引続き一緒に協力しながら進めていきましょう。

VOICE
02

プラント設計の業務経験を武器に 原子力プラントの配置設計に挑む



北村 陣さん

三菱重工株式会社
原子力セグメント
プラント設計部
総合配置計画課

原子力プラント全体のコンセプト決定に携われる基本設計に興味を持ち、現在の仕事を選択しました。前職はプラントの運転や設計業務に携わっていたため、前職での経験を活かして、上司・先輩方と協調し、日々やりがいを感じながら原子力という新たな分野にチャレンジしています。

仕事内容

原子力発電所内における建屋の配置計画、建屋内の機器・配管等の配置計画に関する設計。

前職（業種、業務内容）

プラントの運転、設計業務

現在担当しているプロジェクト

原子力発電所へのテロ対策として新たに設置が要求されている特定重大事故等対処施設の配置設計を担当しています。配置設計は原子力プラントに関する幅広い知識が必要であり、技術的ノウハウも少なく苦労する部分もありますが、上司・先輩方の助力を受けながら、業務を推進しています。

上司からひと言

プラント運転を経験された方が当社を選ばれ、一緒にプラント設計に取り組めることを嬉しく思っています。担当いただいている配置設計は専門技術だけでなく幅広い知識や調整・折衝力を必要としますが、その分やりがいの大きい仕事です。未経験の分野でもこれからご自身が着実に技術力を高めてキャリアアップしていけるように、OJTと充実したOFF-JTでしっかりとサポートしていきますので、原子力エネルギーを支える一員として一緒に頑張っていきましょう。

原子カフィールドで働くためのQ&A

Q1

原子力発電の将来性について教えてください

A1 2021年に決定された第6次エネルギー基本計画では、2030年の電源構成比で20～22%を原子力発電によって賅うことになっています。これは、発電所数に換算すると30～35基が必要となります(24年10月現在、12基が再稼働済)。社会的な信頼回復が最優先ですが、原子力発電はCO²を排出しない電源として、再生可能エネルギーと共に重要な地球温暖化対策の一つに位置付けられています。

Q2

原子力工学を学んでいない理系に活躍の場はありますか

A2 当社原子力エンジニアのうち、大学で原子力工学を学んだ人の割合は25%程度で、機械系、電気・電子・情報系が約50%、土木・建築系、金属系、化学系等が約25%という割合となります。原子力発電所は原子炉以外に電気機器、制御機器、ポンプ、バルブ、配管、建物・構築物など、さまざまな技術が必要となるため、あなたが学んだ専門知識を生かせる活躍の場がきっとあります。

Q3

三菱重工の原子力事業について教えてください

A3 原子力発電の分野で、プラントの開発から製造・運転・保守まで一貫したサービスを提供できる世界屈指の総合プラントメーカーとして最適なソリューションを提案。加圧水型原子力発電プラント(PWR)やプラント用主要機器など、50年以上の経験で培った高度なものづくり力を基盤に、世界最高水準の技術を国内外に展開しています。使用済燃料の再処理などの原子燃料サイクル関連分野や将来炉開発にも積極的に取り組んでおり、電力の安定供給、原子力の信頼性向上、エネルギー資源の有効利用、低炭素社会の実現に貢献します。

Q4

原子力未経験者向けの教育体制は整備されていますか

A4 整備されていますので安心してチャレンジしてください。原子力部門では「理念・方針」「製品知識・自部門理解」「モチベーションケア」の3本柱で教育を推進しています。まず「理念・方針」では幹部によるセグメント方針、事業概要、市場動向、事業計画を講話形式で実施し、「製品知識・自部門理解」では原子力基礎講座、原子力情報セキュリティ教育、各部門紹介、工場見学などを実施しています。「モチベーションケア」としては、幹部・部長によるタウンミーティングや報道事例の紹介(新聞記事等の解説)を行っており、未経験者でも一から勉強できる環境が整備されています。

Q5

勤務地はどこですか
また転勤などがありますか

A5 原子力部門は90%以上の社員が神戸造船所で働いています。その他ごく一部ですが、東京本社、高砂製作所、地方支社等への配属もあります。技術系職種の転勤は比較的少ないです。神戸造船所は設計・営業事務所と工場が隣接しているため、自身を携わった製品を直に見ることができる機会があることに加え、都心部の三宮から電車で約10分の和田岬に所在しているためワーク・ライフ・バランスの充実が図れる事業所となります。

Q6

三菱重工の福利厚生は充実していますか

A6 当社の福利厚生は充実しているといえると言えます。法定以上の育児休業・育児勤務制度も拡充しており、在宅勤務制度も導入しています。また、社宅寮/家賃補助のいずれかを選択可能な住宅支援制度により、住居に関する社員の多様なニーズに応えることができます。加えて、勤続10年以降、5年ピッチでリフレッシュ休暇(5日間)が付与されますので、余暇を充実させることも可能です。

